

人生の岐路で、ある決断を求められることがある。
そのとき、どんな発想で、どのような決断をするのか？
判断の材料にするのは、それまでの人生経験。
それは、必ずしも自分自身の体験でなくてもよく、
書籍やテレビを初めとした情報源も判断材料となることがある。

例題1 コップに半分水が入っている。どう考えるか？

例題2 石を切るだけの仕事。どう考えるか？

<参考書籍>

「また、必ず会おう」と誰もが言った。(喜多川泰/2010、サンマーク出版)

ケース① 人生のピンチで何を考えるか

熊本に住む高校2年生。「ディズニーランドに行ったことがある」と同級生にウソをついてしまう。しかし、同級生に執拗にからまれた結果、夏休み明けに写真を見せることを約束してしまう。そこで、親にウソをついて、東京に一人で出て、ディズニーランドでミッキーと写真を撮った。しかし、帰りの飛行機に間に合わなくなり……。

ケース② ウソをついたとき、何を考え、どう行動すべきか

そもそも、「ディズニーランドに行った」とウソをついて、「写真を見せろ」と言われた時、彼はどうすべきだったのか？

迷ったときには、シンプルに「何を一番大切にしたいか」を考える。

ケース③ 理不尽な要求をつきつけられたとき、どう行動すべきか

せっかくのせてもらったトラック。運転手に突然「メガネをかける」と言われ、仕方なくメガネをかける。しかし、度が合わず、気持ち悪くなる。そのことを訴えるが、「自分がアホとわかるまでそうしてろ！」と怒鳴られる始末。彼はどう行動すべきか？

F13HR課題プリント 「考えて、決断する」

番 氏名： _____

学級通信への掲載の可否

可 ・ 否

ケース1：どんな発想で、どんな行動を起こすか？

[]

ケース2：「写真を見せろよ」と言われたとき、どう行動するか？

[]

ケース3：理不尽な要求に対して、どう対処するか？

[]

感想

[]